



発行所
一般社団法人全私学新聞
〒102-0074 東京都千代田区
九段南2-4-9 第三ビル4階
電話 03(3265)7551-3
FAX 03(3261)7523
振替口座 00120-1-652122
発行人 白井 克彦
購読料 1年 19,000円
©一般社団法人全私学新聞 2026

私学の経営と
教育に役立つ
新聞です。
<https://www.zenshigaku-np.jp>

文部科学省令和8年度予算案

私学助成予算4084億円

高校の授業料等支援拡充

令和8年度政府予算案が12月26日に閣議決定された。このうち文部科学省の一般会計の予算額は、前年度比8.09%増の5兆8809億円、前年度比3.7%増の1兆5000億円(6.7%)と大幅に増額した。

このうち私学助成関係予算額は前年度比11%増の4084億円。

内訳は、①私立大学等経常費補助が3987億円(前年度比8.09%)増、そのうち93%を占める一般補助の予算額は2782億円(同9.09%)増で、物価上昇等を踏まえた教育研究基盤の維持・強化に必要な支援や、地域経済の担い手やエッセンシャルワーカーの育成等を行う地方小規模大学や日本の産業を支える理工農系人材の育成等を行う大学への重点支援、教育研究の質の向上に向けた

文部科学省の令和8年度予算案の主な事業	
義務教育費国庫負担金	1兆7118億円
行政による学校問題解決のための支援体制	2億円
学習者用デジタル教科書の導入	17億円
高等学校DX加速化推進事業	52億円
「知の総和」啓蒙を踏まえた地域大学振興の推進	8億円(新規)
大学病院の機能強化推進・高度医療人材養成等の推進	36億円(新規)
学校給食費の抜本的な負担軽減(いわゆる給食無償化)	1649億円
高等教育の修学支援の充実(こども家庭計上予算含む)	7486億円
科学技術人材の育成・活躍促進	247億円
部活動の地域展開等の全国的な実施	57億円
私立大学等の改革の推進	4084億円
グローバル人材育成の推進	732億円
不登校・いじめ対策等の推進	100億円
在外教育施設の戦略的な機能強化	192億円
リ・スキリングを含めた教育等社会人の学び直し機	91億円
会の拡大	2479億円
科研費・創発事業による若手・新領域支援の一体改	2兆353億円
研究力の抜本的強化による『科学の再興』の実現	2兆353億円
※運営交付金中の推計額含む	

異なる学部チームで生まる化学反応

第1回国勢調査が実施されたのは1920年であり、この時点で東京府の人口は都道府県の中で最も多く370万人弱であった。一方、最も人口の少ない県は鳥取県の45万人強であった。そして東京府の約12パーセントであった。ところが、直近の国勢調査(2020年)を見ると、第1位が東京都、最下位が鳥取県であることは変わりはなく、鳥取県の人口は55万人強と東京都の人口(1404万人強)の約3.9パーセントまで低下していった。

この現象が象徴するように、わが国の地域間格差は正統時代から存在したが、今ほどの違いはなかった。もちろん、この間、わが国は地域間格差に目をむいてきたわけではなく、過去5回にわたって都市と地方の格差を正す目的とする全国総合開発計画を実施してきた。その中心的政策は、物的なインフラストラクチャーの整備である。つまり、拠点開発方式による工場用地の整備や新幹線、高速道路、空港建設などの交通網の充実、そして規制緩和等を通しての開発促進などであり、

論壇

「ゼミの武蔵」から生まれる地域人材専門知の交流と総合知の獲得

これは、経済活動やその担い手を外部に頼るのではなく、地域独自で作り出さないといい、内発型の経済発展を地方に求めたものである。つまり、この時点から地域人材の需要が飛躍的に高まったと考えることができよう。

それでは、地域人材とはどのような能力を有している人なのか。ひと言で表現するならば、専門知の交流を通して総合知を獲得した人と言えるのではない。地域の活性化は企業の活性化と比べてはるかに複雑で難しい。それは、地域はさまざまな立場にある人たちの集合体であるため、自分とは異なる専門知と向き合い、交流することができれば、会話やコミュニケーションが成り立たないからである。本学は1年生から必修のゼミナールがあり、学生10人単位で専門知が過剰な環境にあり、異なる専門知との交流を避けることはできない環境になっている。

このような環境をさらに凝縮させたゼミナールもあり、これは所属する学部の垣根を越えて学生がチームをつくり、企業が提示する課題に取り組みものであり、2007年度から始めている。「学部横断型課題解決プロジェクト」(以下、横断ゼミ)と呼ばれるもの

令和7年12月23日・8年1月3日合併号の主な内容

教育改革論議の動向	2・3面
明治大学メディア交流会	4面
各地で私学振興大会	5面
F M特集・J F M A 魅力ある学校づくりへ	6面

に103億円(同)が計上され、正予算に146億円が計上されている。また、②上されたほか、耐震化・私立高等学校等経常費補助の増額、施設整備等の事業費、成費等補助は1006億円、日本私立学校振興・共済事業団が実施に600億円の融資枠も設けられ、その内訳を見ると一般補助が8337億円(前年度比4.4%)増で、物価高を踏まえ幼児児童生徒一人当たりの単価を3万円増額し、合計が伸びる。特別補助は1366億円(同1億円減)、私立支援学校等への支援は347億円(同1億円増)となった。

さらに、③私立学校施設・設備の整備の推進は、前年度と同額の91億円。その内訳は、非構造部材と構造体の耐震対策や避難所機能の強化など防災機能強化への重点支援、熱中症による事故防止のための空調設備の整備に合わせた41億円(同5億円減)を計上。また私立高等学校等の教育DXの推進に22億円(前年度と同額)を計上し、ICT教育設備や校内LANの整備を支援。加えて私立大学等の教育研究基盤の向上に28億円(同5億円増)を計上している。

増を計上している。設備整備に関しては先年度で成立した平成7年度補

2026年

新年賀

令和8年度は大学の学部の理系転換や文理融合が更に進展、高校や小・中学校でもそうした傾向が強まる見込みです。成長分野の人材育成も重要ですが、まずは子供達が様々な事柄に興味関心を抱き、学ぶことの楽しさをより感じられる年になればいいですね。

これは、経済活動やその担い手を外部に頼るのではなく、地域独自で作り出さないといい、内発型の経済発展を地方に求めたものである。つまり、この時点から地域人材の需要が飛躍的に高まったと考えることができよう。

それでは、地域人材とはどのような能力を有している人なのか。ひと言で表現するならば、専門知の交流を通して総合知を獲得した人と言えるのではない。地域の活性化は企業の活性化と比べてはるかに複雑で難しい。それは、地域はさまざまな立場にある人たちの集合体であるため、自分とは異なる専門知と向き合い、交流することができれば、会話やコミュニケーションが成り立たないからである。本学は1年生から必修のゼミナールがあり、学生10人単位で専門知が過剰な環境にあり、異なる専門知との交流を避けることはできない環境になっている。

このような環境をさらに凝縮させたゼミナールもあり、これは所属する学部の垣根を越えて学生がチームをつくり、企業が提示する課題に取り組みものであり、2007年度から始めている。「学部横断型課題解決プロジェクト」(以下、横断ゼミ)と呼ばれるもの

武蔵大学 学長 高橋 徳行

文部科学省後援検定試験

価格(税別)

硬筆毛筆書写検定12級合格のポイント	令和6年度 2420円
硬筆毛筆書写検定11級合格のポイント	令和6年度 2200円
硬筆毛筆書写検定10級合格のポイント	令和6年度 2000円
硬筆毛筆書写検定9級合格のポイント	令和6年度 1800円
硬筆毛筆書写検定8級合格のポイント	令和6年度 1650円
硬筆毛筆書写検定7級合格のポイント	令和6年度 1500円
硬筆毛筆書写検定6級合格のポイント	令和6年度 1320円
硬筆毛筆書写検定5級合格のポイント	令和6年度 1180円
硬筆毛筆書写検定4級合格のポイント	令和6年度 1000円
硬筆毛筆書写検定3級合格のポイント	令和6年度 880円
硬筆毛筆書写検定2級合格のポイント	令和6年度 780円
硬筆毛筆書写検定1級合格のポイント	令和6年度 680円

硬筆・毛筆書写技能検定テキスト

価格(税別)

硬筆毛筆書写検定12級合格のポイント	令和6年度 2420円
硬筆毛筆書写検定11級合格のポイント	令和6年度 2200円
硬筆毛筆書写検定10級合格のポイント	令和6年度 2000円
硬筆毛筆書写検定9級合格のポイント	令和6年度 1800円
硬筆毛筆書写検定8級合格のポイント	令和6年度 1650円
硬筆毛筆書写検定7級合格のポイント	令和6年度 1500円
硬筆毛筆書写検定6級合格のポイント	令和6年度 1320円
硬筆毛筆書写検定5級合格のポイント	令和6年度 1180円
硬筆毛筆書写検定4級合格のポイント	令和6年度 1000円
硬筆毛筆書写検定3級合格のポイント	令和6年度 880円
硬筆毛筆書写検定2級合格のポイント	令和6年度 780円
硬筆毛筆書写検定1級合格のポイント	令和6年度 680円

私大の在り方検討会議、議論終える

審議のまとめ案を、基本了承

一部加筆修正後公表へ

文部科学省の「2040年を見据えて社会と大学」を踏まえて、令和7年度補正予算案(52億円)が計上された。000万円の予算額。対象を中所得世帯・年収490万円程度、年収加速化推進事業について

令和7年度補正予算案は52億円が計上された。000万円の予算額。対象を中所得世帯・年収490万円程度、年収加速化推進事業について

スピーキングテストの練習に最適!

Here We Go! AI英語教材

はじめてよう! 音声を生かした学習を!

フラッシュカードからどこでも学べる!

いつも使っている教科書で、AIを効果的に使いながら学習しましょう!

今まで使ったリスニング・スピーキング課題を簡単に学習できるようにしました。音読・オーバーラッピング・リピーティング・ディクテーションなど、豊富なバリエーションでクラスの実態に応じたオリジナルの課題も簡単に作成できます。

学習状況をリアルタイムに把握	学習状況をExcel形式でダウンロード
----------------	---------------------

商品名	価格
abceed for school 令和3年度版 Here We Go! ENGLISH COURSE プラン	1年間 2,640円(税別)/1ユーザー

※8ヶ月、4ヶ月プランもあります。

お問い合わせはこちらまで support_digital@mitsumura-tosho.co.jp

SDGsの目標達成のために再生材を使用した地球に優しいECOプラロッカー

MADE in JAPAN! 再生材を使用した安心の日本製!

信頼のあるエコマーク取得商品

特許取得済み! 「ルミロッカー」

東京さくらトラム「エコプラロッカー」運行中!

21 130 005 グリーン購入法にも適合!

ECOプラロッカー

株式会社プラロッカー

〒121-0055 東京都足立区加平 1-19-10

お問合せ・お見積はこちらから 03-6721-7491

<https://www.plalocker.co.jp>

私学のための融資

私学 融資

国からの融資だから安心だね!

お問い合わせは 03-3230-7862~7868 yushi@shigaku.go.jp

最新の金利や制度はWEBで https://www.shigaku.go.jp/s_yushi_menu.htm

校舎・図書はもちろんスクールバスや機器・備品などの幅広いニーズに対応。耐震化事業では利子助成を受けられる私学が利用しやすい国の融資です。

長期・低利・固定金利 借入期間最長30年

日本私立学校振興・共済事業団は、日本全国の私立学校教育の充実と向上に寄与するためにつくられた公的機関。「私立学校のための私学事業団」として、私学の経営を応援しています。長期・低利・固定金利のほか利息負担の少ない「元金均等返済」、登録免許税の非課税、国の利子助成制度の適用など、私学の経営をよく知る私学事業団だからこそできる融資。これまでに学校法人等にご利用いただいた資金は総額3兆円超。ご利用満足度は90%超。まずはお気軽にご相談ください。

日本私立学校振興・共済事業団